

『高齢者の身体機能～嚥下について考える～』

講師からのメッセージ

今回の講座では、アントロポゾフィー医学の観点から、高齢者とその身体機能について考えてみましょう。

人間は生まれてから、母乳などを飲むことに始まり、常に口から栄養や水分などを摂取して生きています。食事や水分を口から入れて飲み込むまで、無意識に行われているこの一連の機能を、『嚥下（えんげ）』といいます。この嚥下は、人間の身体のなかで、とりわけ奇跡的で美しい機能ともいえるでしょう。しかし嚥下機能は、年齢や病気によって低下することもあり、高齢者の日常生活に大きな変化をもたらします。

今回、私たちはこの人間にとって大切な「嚥下」をテーマに、機能・疾患・QOL、そして高齢者の尊厳についても、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

2018年12月2日（日）10:00～16:00

【時間】 10:00～12:00 お話と質疑応答
13:30～16:00 音楽療法症例報告及び体験

【会場】 大倉山記念館ホール

【参加費】 一般 3500円 会員 3000円

【定員】 50名（申込先着順）

この講座は、アントロポゾフィー芸術療法を学ぼうとする方々、関心のある方々のために、アウデオペーデ/シュタイナー音楽療法研究会が開催しています。どなたでもご参加いただけます。またアントロポゾフィー音楽療法を学ぶ人たちの必修講座としての役割も果たしています。

午後の症例検討会では、音楽療法の研究及び症例についてディスカッションしていきます。学ぶ志をもった方のご参加を歓迎いたします。

※この講座は日本音楽療法学会の認定を得ています。

講師 志水祥介（神経内科）



アントロポゾフィー医学認定医、神経内科専門医/指導医。総合病院の専門医療、僻地・離島医療、在宅診療など様々な医療分野を経験後、精神科医療における身体診療の充実を目標に活動中。駒木野病院内科医長/高齢者医療センター副センター長

《症例報告及び音楽体験》13:30～16:00

「認知症高齢者の介護に寄り添う」

堀川佳代（アントロポゾフィー音楽療法士）

近年多く見られる在宅での認知症老老介護の現場で、音楽療法がどのような助けになり得るのか、実際の活動報告から、皆さんと共にさらに深く考えてみたいと思います。

「音と動きの体験～認知症集団音楽療法をもとに～」

勝田恭子（アントロポゾフィー音楽療法士）

音と動きには密接なつながりがあります。認知症病棟での実践から、音と動きをテーマにした活動をいくつかご紹介します。共に体験し、その作用について感じていただければと思います。

高齢者の身体機能～嚥下について考える～ 講師 志水祥介（神経内科）

2018年12月2日(日) 10:00~16:00

【時間】 10:00~12:00 お話と質疑応答 13:30~16:00 音楽療法症例報告及び体験

【会場】 大倉山記念館ホール

【参加費】 一般 3500円 会員 3000円

【定員】 50名（申込先着順）

【申込】 住所・氏名・電話番号を記載の上、オーディオペーデ事務局まで、間違いを避けるためできるだけメールかFAXにてお申し込みください。いずれの方法も難しい方のみ電話でお受けいたします。折り返しご案内致します。

【支払い方法①】（ゆうちょからの振り込み） 記号：00220-2 番号：101127

【支払い方法②】（他銀行からの振り込み）

ゆうちょ銀行 店番：0二九（ゼロニキュウ）当座預金 口座番号：0101127
口座名義：一般社団法人オーディオペーデ

一般社団法人オーディオペーデ事務局 HP: [http:// audio-pade.com/](http://audio-pade.com/)

セラピーハウスつきみ野第二

〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野 3-30-5 TEL 046-240-9117 FAX 046-240-9118

e-mail: audio-pd@nifty.com

【主催】 一般社団法人オーディオペーデ内シュタイナー音楽療法研究会

【後援】 一般社団法人アントロポゾフィー医学の医師会 アントロポゾフィー音楽療法士の会

【協力】 大倉山記念館

今後の予定

「シュタイナー音楽療法研究会連続研修講座」

2019年2月4日(日)

会場はいずれも大倉山記念館ホール

大倉山記念館

〒222-0037 横浜市港北区大倉山二丁目10番1号

TEL: 045-544-1881 / FAX: 045-544-1084

開館時間：9:00~22:00

◎電車でお越しの方へ

東急東横線「大倉山駅」より徒歩7分（駅とKFCの間の坂道を渋谷方向に上る）*駐車場はありません

